

修士学位論文提出要領

1. 修士学位論文提出資格

2025年3月末日までに、本研究科で定めた修業年限以上在学し、所属専攻・系の授業科目16単位以上を含む30単位以上を履修して修得する見込みの者。

※プログラム所属者は、それぞれの修了要件を確認すること。

2. 学位論文題目届の提出

(1) 提出期間

専攻・系	学位論文題目届提出期間
言語情報科学 超域文化科学 地域文化研究 国際社会科学	2024年10月30日(水)～11月6日(水)
生命環境科学系 広域科学 広域システム科学系 関連基礎科学系	2024年12月2日(月)～12月9日(月)

(2) 提出場所

教務課総合文化大学院チーム【窓口またはサイト提出】

提出サイト：<https://forms.gle/HbBBehJDgc3jQVjF6>

また、題目届の提出期間内に学務システム UTAS に論文題目を登録すること。

(3) 受付時間

窓口：10:00～12:30、13:30～16:00（時間厳守）

提出サイト：（文系4専攻、HSP、IHS） 10月30日（水）10時から最終日16時まで
（広域科学専攻） 12月2日（月）10時から最終日16時まで

※不備がある場合は、受理しない。

(4) 学位論文題目届は、所定の用紙に指導教員の承認の押印を受けて提出すること。

押印がない場合は、指導教員から題目届を確認し、提出を許可する旨の承諾メールを題目届と一緒に提出すること。自署欄以外は、パソコンで入力すること。

(5) 学位記の氏名は、この題目届の文字を用いるので、原則として戸籍簿等のおりに楷書で正確に記入すること。ただし、外国人学生（漢字を氏名に使用しない者）については、ローマン・アルファベットとする。論文本体の表紙、論文要旨、学位論文提出届等の学位論文申請手続きに関する全ての書類について、氏名の表記を統一させること。

※旧姓使用等については、総合文化大学院チーム窓口にて確認すること。

(6) 論文題目について、題目が日本語の場合はその英語訳を（ ）書きで必ず書き添えること。

また題目が英文の場合は活字体で記入し、その日本語訳を（ ）書きで必ず書き添えること。

(7) 「生年月日」と「学位記に記載する生年月日の年号表記」（和暦/西暦）を統一すること。

3. 論文及び論文要旨の提出

(1) 提出期間

専攻・系	学位論文提出期間
言語情報科学 超域文化科学 地域文化研究 国際社会科学	2024年12月4日(水)～12月11日(水)
生命環境科学系 広域科学 広域システム科学系 関連基礎科学系	2025年1月8日(水)～1月16日(木)

(2) 提出場所

教務課総合文化大学院チーム【窓口】

ただし、提出期間最終日は下記のとおりとする。

専攻・系	学位論文提出期間最終日	提出場所
言語情報科学 超域文化科学 地域文化研究 国際社会科学	2024年12月11日(水)	18号館4階 コラボレーションルーム1
生命環境科学系 広域科学 広域システム科学系 関連基礎科学系	2025年1月16日(木)	15-101講義室

(3) 受付時間

10:00 ~ 12:30、13:30 ~ 16:00 (時間厳守)

※受付時間を過ぎたもの、書類等が不備なものについては、特段の理由がない限り受理しない。

(注) ここで言う「特段の理由」とは、不慮の事故や災害、法律で指定された感染症等の急な発症など、通常予測不可能であり、かつ本人に責を帰すべき事由のいっさい存在しない場合に限られる。プリンターの故障や不具合、通常予想できる範囲の交通機関の遅れ、重篤でない病気などは該当しない。

なお、「特段の理由」に該当すると思われる場合は、その事実を証明する文書を添付して指導教員に申し出ること。

(4) 指導教員の承認を受けてから提出すること。

(5) 提出書類等

ア) 学位論文提出届 1部

※所定の用紙は、総合文化大学院チームホームページ上から入手できるので、論文題目(英語訳も必ず記入すること)はパソコンで入力し、印刷のうえ以下の書類を添えて提出すること。(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/thesis/master/index.html>) (右のQRコード)



イ) 論文 3部

ウ) 論文要旨 3部

※イ)、ウ) について、専攻・系等より別途追加提出の指示がある場合は必ずその指示に従うこと。

4. 論文及び論文要旨作成要領

(1) 言語情報科学専攻、超域文化科学専攻、地域文化研究専攻、国際社会科学専攻

①論文

ア) 原則としてA4判とし、日本語及び欧文の場合は、パソコン等を使用し印刷したもの、中国語等の場合は、原稿用紙等に清書又はパソコン等を使用し印刷したものを、仮製本以上(バインダー綴不可)の装丁にすること。

イ) 表紙については、以下の「論文の表紙の作成例」により、論文題目(論文題目が外国語の場合には()書きで日本語訳を必ずつけること)、専攻(分野)名、学生証番号及び氏名等を記載すること。

ウ) 分冊となる場合は、各分冊の表紙にそれぞれ論文と同様に論文題目(論文題目が外国語の場合には()書きで日本語訳を必ずつけること)、専攻(分野)名、学生証番号及び氏名等を記載すること。この場合、論文の背の部分の下部に分冊番号並びに氏名を付記すること。

②論文要旨

- ア) A 4判で、記載方法は論文に準ずるものとし、日本語及び中国語等の場合は4,000字以内、欧文等の場合は10枚以内を原則とし、図表等を用いる場合は、明瞭に印刷又は複写すること。ただし、各専攻において特別な指示がある場合は、その指示によること。
- イ) 表紙については、以下の「論文要旨の作成例」により、論文題目（論文題目が外国語の場合には（ ）書きで日本語訳を必ずつけること）、専攻（分野）名、学生証番号及び氏名等を記載すること。
- ウ) 論文とは別にして綴じること。

(2) 広域科学専攻

①論文

- ア) 原則としてA 4判とし、日本語及び欧文いずれの場合もパソコンを使用し印刷したものを、仮製本以上（バインダー綴不可）の装丁にすること。
- イ) 表紙については、以下の「論文の表紙の作成例」により、論文題目（論文題目が外国語の場合には（ ）書きで日本語訳を必ずつけること）、専攻・系名、学生証番号及び氏名等を記載すること。
- ウ) 分冊となる場合は、各分冊の表紙にそれぞれ論文と同様に論文題目（論文題目が外国語の場合には（ ）書きで日本語訳を必ずつけること）、専攻・系名、学生証番号及び氏名等を記載すること。この場合、論文の背の部分の下部に分冊番号並びに氏名を付記すること。

②論文要旨

- ア) A 4判で、記載方法は論文に準ずるものとし、日本文で図表を含めて4,000字以内とする。図表及び化学記号等を用いる場合は、明瞭に印刷又は複写すること。ただし、専攻・系において特別な指示がある場合は、その指示によること。
- イ) 表紙については、以下の「論文要旨の作成例」により、論文題目（論文題目が外国語の場合には（ ）書きで日本語訳を必ずつけること）、専攻・系名、学生証番号及び氏名等を記載すること。
- ウ) 論文とは別にして綴じること。

5. その他

- 授業料未納の者は、修了することはできないので注意すること。
- **所定の用紙**は、**2024年10月2日(水)以降** 総合文化大学院チームホームページ上に掲載するので、学位論文題目届提出期間の前に入手し、**余裕をもって準備すること**。
- 学位記の氏名について
学位記の氏名は、学位論文題目届に記入した氏名をもとに作成するため、戸籍簿等の記載のとおり楷書で記入すること。漢字圏以外の国籍をもつ外国人学生は、ローマン・アルファベット表記となる。なお、旧姓の表記を希望する場合や外国人学生（日本国籍を持つ多重国籍者を含む）で氏名の表記について特段の事情がある場合は、規則上の制限があるので個別に総合文化大学院チームの窓口へ相談すること。
外国人学生には、学位記のほかに「学位記の英文による証明状」を発行する。これに表記する氏名は、学位論文題目届に記入した英字（ローマン・アルファベット）表記による氏名をもとに作成する。スペルや姓・名・ミドルネームの順番等も記入したとおりの氏名で作成するため、特に、パスポート等に記載されている氏名と同じ表記を希望する場合は、留意すること。ただし、氏名は全て大文字で表記される。
英字表記による氏名を学位論文題目届に記入する際は、パソコンで入力すること。

「論文の表紙の作成例」

修 士 学 位 論 文

○○○○○○○○○○○○○○○○
(外国語の場合は, 日本語訳)

○○○年度
○○○○○専攻
○○○○○
○○○○○

← 論文題目を記入

← 提出年度
← 専攻(分野)・系名
← 学生証番号
← 氏名

「論文要旨の作成例」

論 文 要 旨

○○○○○○○○○○○○○○○○
(外国語の場合は, 日本語訳)

○○○○○専攻
○○○○○
○○○○○

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

← 論文題目

← 専攻(分野)・系名
← 学生証番号
← 氏名

← 下半分から要旨本文を記入する。